

個人投資家向け 会社説明資料

サンワテクノス株式会社

＜証券コード 8137＞

2024年7月6日（土）

<https://www.sunwa.co.jp/>



代表取締役会長

た なか ひろゆき

田中 裕之

- 1957年 生まれ
- 1979年 中央大学 理工学部 卒
サンワテクノス株式会社入社
- 2006年 取締役
- 2008年 常務取締役
- 2014年 専務取締役
- 2017年 代表取締役社長
- 2022年 代表取締役会長兼社長
- 2023年 代表取締役会長

- 会社概要
- 2024年3月期決算概要・2025年3月期業績予想
- 第11次中期経営計画「SNS2024」の進捗
及び2024年度会社方針
- 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応
について
 - ① 中期経営計画「SNS2024」の着実な実行による収益
性の向上
 - ② 株主還元の充実
 - ③ IR・SR活動の拡充
- サンワテクノスの主な社会貢献活動

- 会社概要
- 2024年3月期決算概要・2025年3月期業績予想
- 第11次中期経営計画「SNS2024」の進捗
及び2024年度会社方針
- 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応
について
 - ① 中期経営計画「SNS2024」の着実な実行による収益
性の向上
 - ② 株主還元の充実
 - ③ IR・SR活動の拡充
- サンワテクノスの主な社会貢献活動

※ 2024年3月期

会社名 : サンワテクノス株式会社

設立 : 1949年11月4日

拠点 : 国内 : 5支社30拠点 海外 : 3地域統括34拠点

従業員数 : 連結1,071名 単体610名 (2024年3月末日)

売上高 : 1,661億円

営業利益 : 62億円

当期純利益※ : 50億円

総資産 : 987億円



※ 親会社株主に帰属する当期純利益

※ 拠点情報はHPをご覧ください。

社是

人を創り 会社を興し 社会に尽くす

経営理念

明るい未来を創るサンワテクノスグループ

長期経営ビジョン

Sun-Wa Vision 2030



会社概要（サンワテクノス75周年の歩み）

24年11月 設立75周年

75th
Anniversary
おかげさまで75周年

24年 国内3支社開設（南関東・北関東・九州）

23年 サンワテクノスインドを設立

22年 東京証券取引所プライム市場へ移行

19年 四国営業所 開設

05年 東京証券取引所市場第一部上場

海外現地法人を各地に開設

95年 シンガポールに現地法人を設立

93年 社名をサンワテクノスへ変更

各地に営業所を開設

82年 株式を店頭公開

70年 山田空調株式会社設立
（現：サンワトリニティ）

62年 名古屋支店 開設

60年 大阪支店 開設

58年 福岡支店 開設

49年 会社設立（旧社名：山田工業株式会社）



1949～'60S 復興～高度成長期

- ・1949年（旧）山田工業株式会社を設立
- ・安川電機と代理店契約
- ・BtoBビジネスモデル、双方向取引の原点が生まれた

'70S～'80S バブル経済へ

- ・国内産業の発展に伴い全国規模で拠点を拡充
- ・地域、顧客密着営業活動を展開
- ・現在の電機、電子、機械の事業領域が確立

'90S～'00S グローバル経済

- ・1995年のシンガポール出店を皮切りにアジア、ヨーロッパ、北米に海外拠点を拡充、本格的なグローバル化

'10S～現在 ICTとデジタル経済

- ・社内のDX化を進め国内外での連携を強化
- ・スマート営業所を拡充
- ・グローバルサプライチェーンを駆使し、お客さまの生産拠点の高度化、競争力向上を実現

産業用エレクトロニクス・メカトロニクス関連の 装置・機器・部品を取り扱う独立系技術商社

電機部門



モーションコントロール、機械装置システムの高付加価値化を実現するメカトロ関連ビジネス

電機部門主要顧客

SCREENグループ
KOKUSAI ELECTRIC
パナソニックグループ
ニコングループ
ダイフクグループ

電子部門



デザイン・インから製品の量産化まで、
きめ細かく対応する電子部品関連ビジネス

電子部門主要顧客

デンソーグループ
安川電機グループ
三菱電機グループ
オムロングループ
富士電機グループ

機械部門



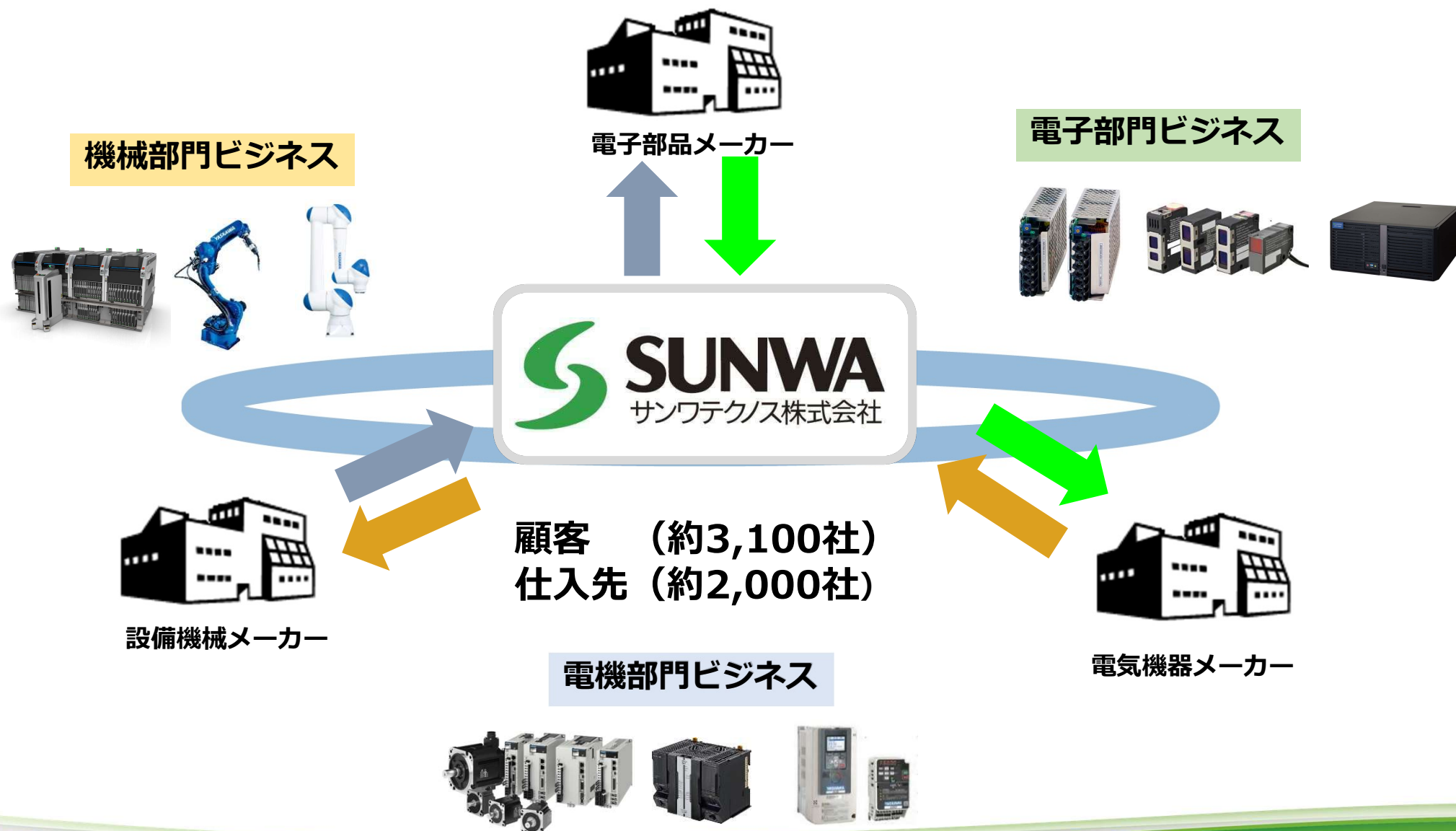
ロボットや物流搬送システム、
各種検査装置などの生産設備関連ビジネス

機械部門主要顧客

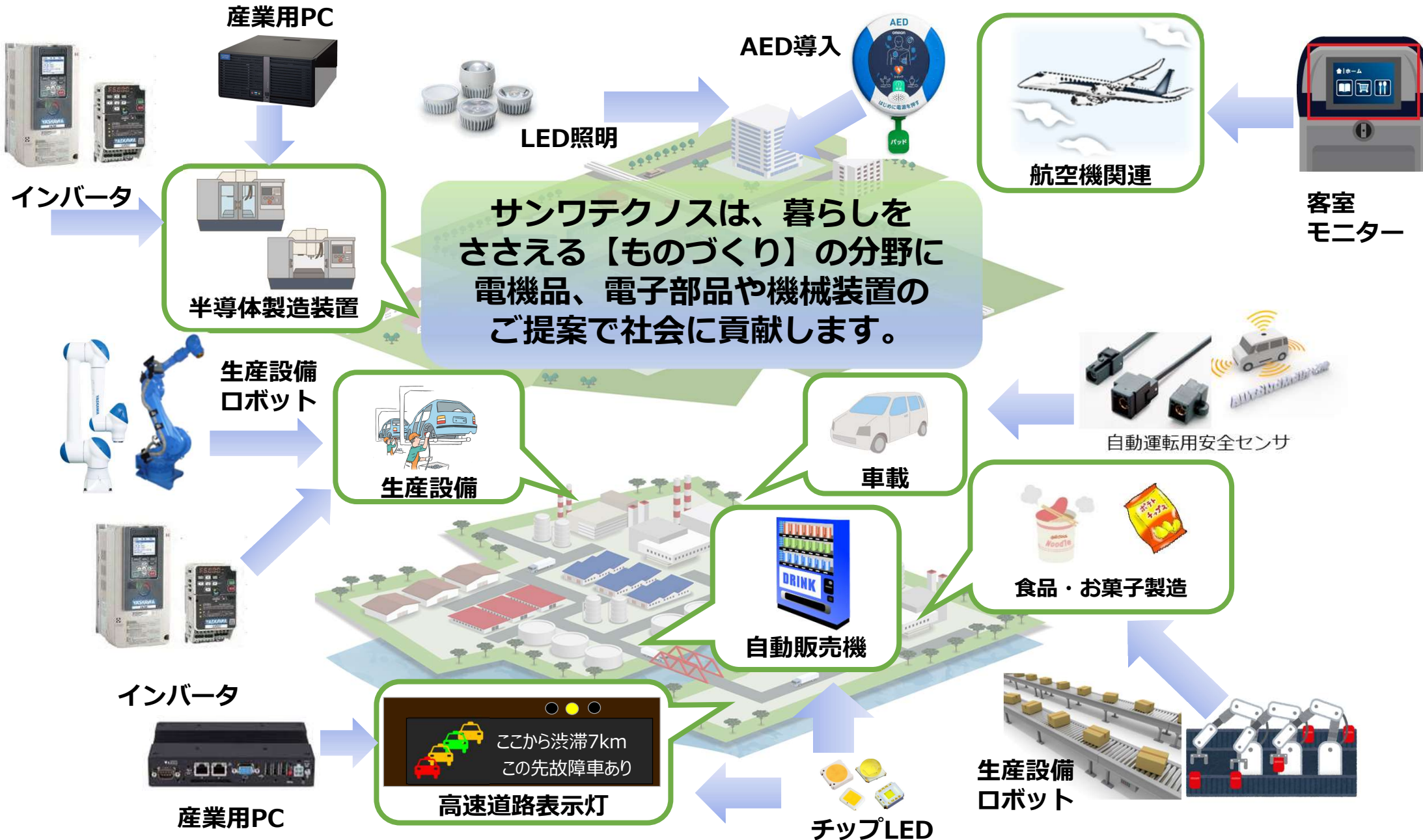
デンソーグループ
SUBARU
富士フイルムグループ
AGCグループ
SUMCO

会社概要（サンワテクノスの強み）

- 顧客であると同時に仕入先企業である多数の大手企業との双方向取引による強い協力関係と情報収集力。

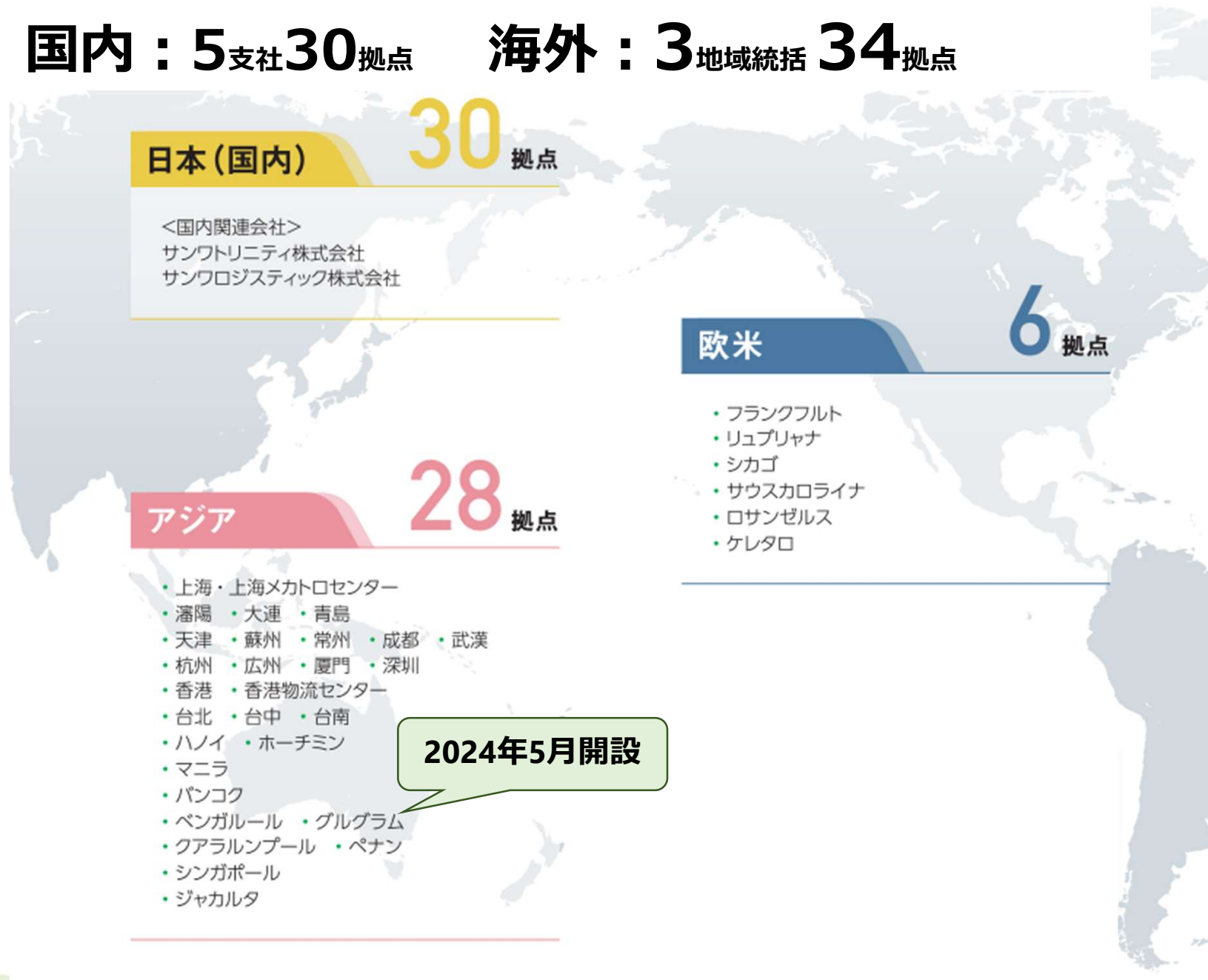


会社概要（暮らし・社会に貢献するサンワテクノス）



会社概要（サンワグローバルネットワーク）

国内：5支社30拠点 **海外：3地域統括 34拠点**



会社概要（DXを活用した営業活動 - スマート営業所）

＜スマート営業所のコンセプト＞

顧客密着営業を基軸とした国内・海外に多数拠点展開
お客様の近くに存在するベストパートナーを目指し、
お客様の声を直接伺う営業パーソンがお客様の存在する各地に駐在し、
業務オペレーションは支店から遠隔支援

海外：6拠点

- 2021 ペナン事務所(マレーシア)
- 2022 青島事務所
常州事務所
武漢事務所
- 2023 成都事務所
- 2024 グルグラム事務所（インド）

グルグラム事務所（インド）



日本：5拠点

- 2019 四国営業所
- 2020 長岡営業所
- 2021 甲府営業所
金沢営業所
- 2022 滋賀営業所

* 2024年6月現在

- 会社概要
- 2024年3月期決算概要・2025年3月期業績予想
- 第11次中期経営計画「SNS2024」の進捗
及び2024年度会社方針
- 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応
について
 - ① 中期経営計画「SNS2024」の着実な実行による収益
性の向上
 - ② 株主還元の充実
 - ③ IR・SR活動の拡充
- サンワテクノスの主な社会貢献活動

2024年3月期 決算概要

■ 2024年3月期業績

売上高・営業利益・経常利益・当期純利益は、前年度に次ぐ過去2番目の業績

需給ひっ迫状況が解消したことで在庫過多による手配調整が続き、受注高・受注残は前年より減少

- ・対前期セグメント別売上高では日本が△11.2%、アジアが△3.5%、欧米が+4.7%
- ・再生エネルギー関連や省人化を目的とした設備投資が堅調に推移、半導体関連の設備投資は減少

(単位:百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	増減額	対前期増減率 (%)
売上高	181,013	166,138	△14,875	△8.2%
営業利益	7,630	6,215	△1,415	△18.5%
経常利益	7,675	6,631	△1,044	△13.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,493	5,007	△486	△8.9%
EPS (1株当たり当期純利益、円)	355.08	329.87	△25.21	△7.1%

■ 2025年3月期業績予想

顧客の在庫過多による手配調整が継続されていること、および中国経済の景気回復の遅れや地政学的リスクの不透明感から減収減益を見込む

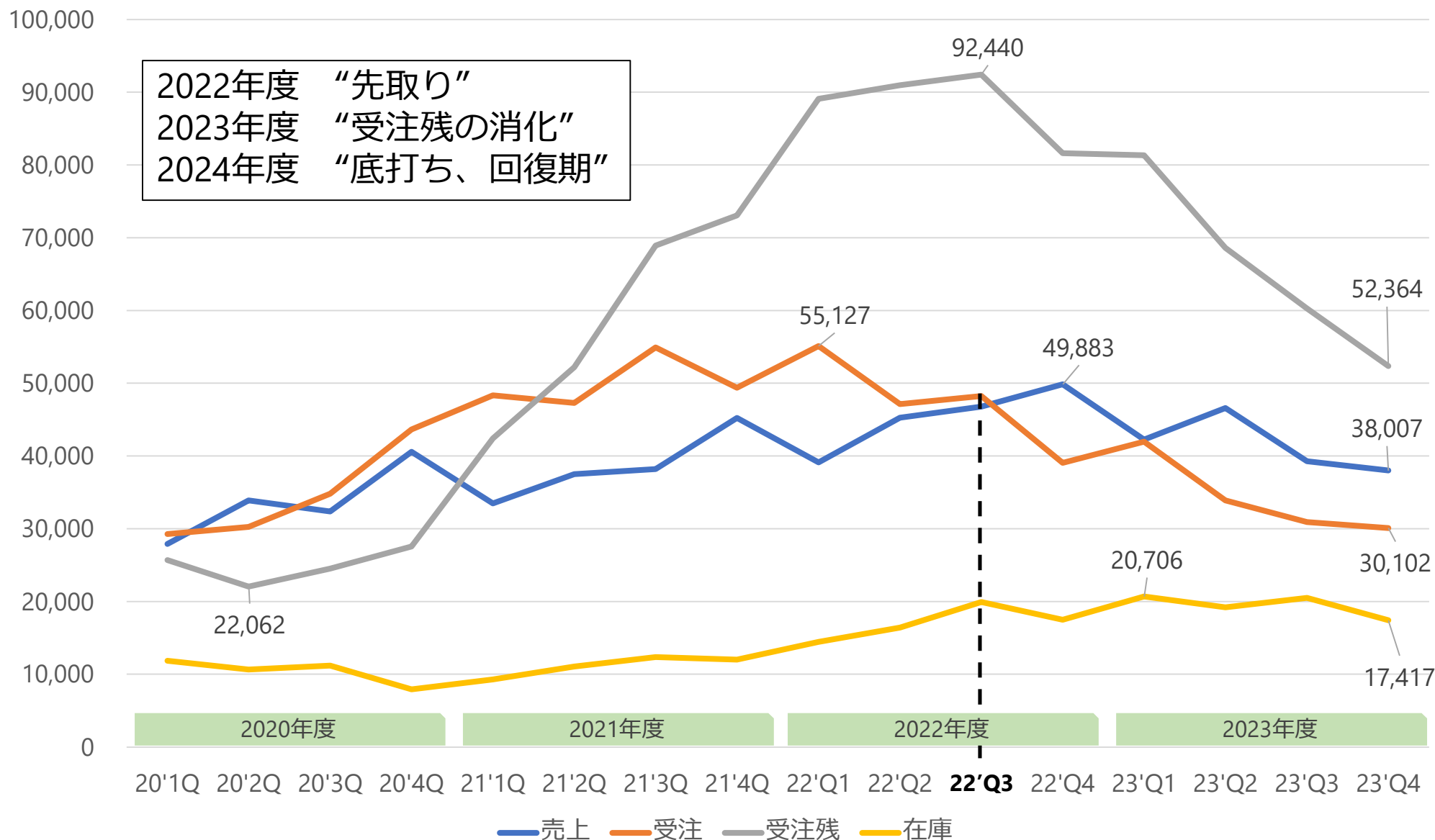
(単位:百万円)

	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想 (2024年5月10日公表)	増減額	対前期増減率 (%)
売上高	166,138	155,070	△ 11,068	△ 6.7%
営業利益	6,215	3,080	△ 3,135	△ 50.4%
経常利益	6,631	3,220	△ 3,411	△ 51.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,007	2,410	△ 2,597	△ 51.9%
EPS (1株当たり当期純利益、円)	329.87	159.48	△ 170.39	△ 51.7%

(※) 親会社株主に帰属する四半期純利益・当期純利益

売上・受注・受注残・在庫の推移

四半期毎の実績推移



- 会社概要
- 2024年3月期決算概要・2025年3月期業績予想
- 第11次中期経営計画「SNS2024」の進捗
及び2024年度会社方針
- 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応
について
 - ① 中期経営計画「SNS2024」の着実な実行による収益
性の向上
 - ② 株主還元の充実
 - ③ IR・SR活動の拡充
- サンワテクノスの主な社会貢献活動



Sun-Wa New Stage

第11次 中期経営計画
(2022年度～2024年度)

第11次 中期経営計画 経営目標＜連結＞

企業価値の向上

2024年度 営業利益70億円達成
PBR（株価純資産倍率）1.0倍超の早期実現を目指す
最重要経営指標を『売上高』から『営業利益』とする

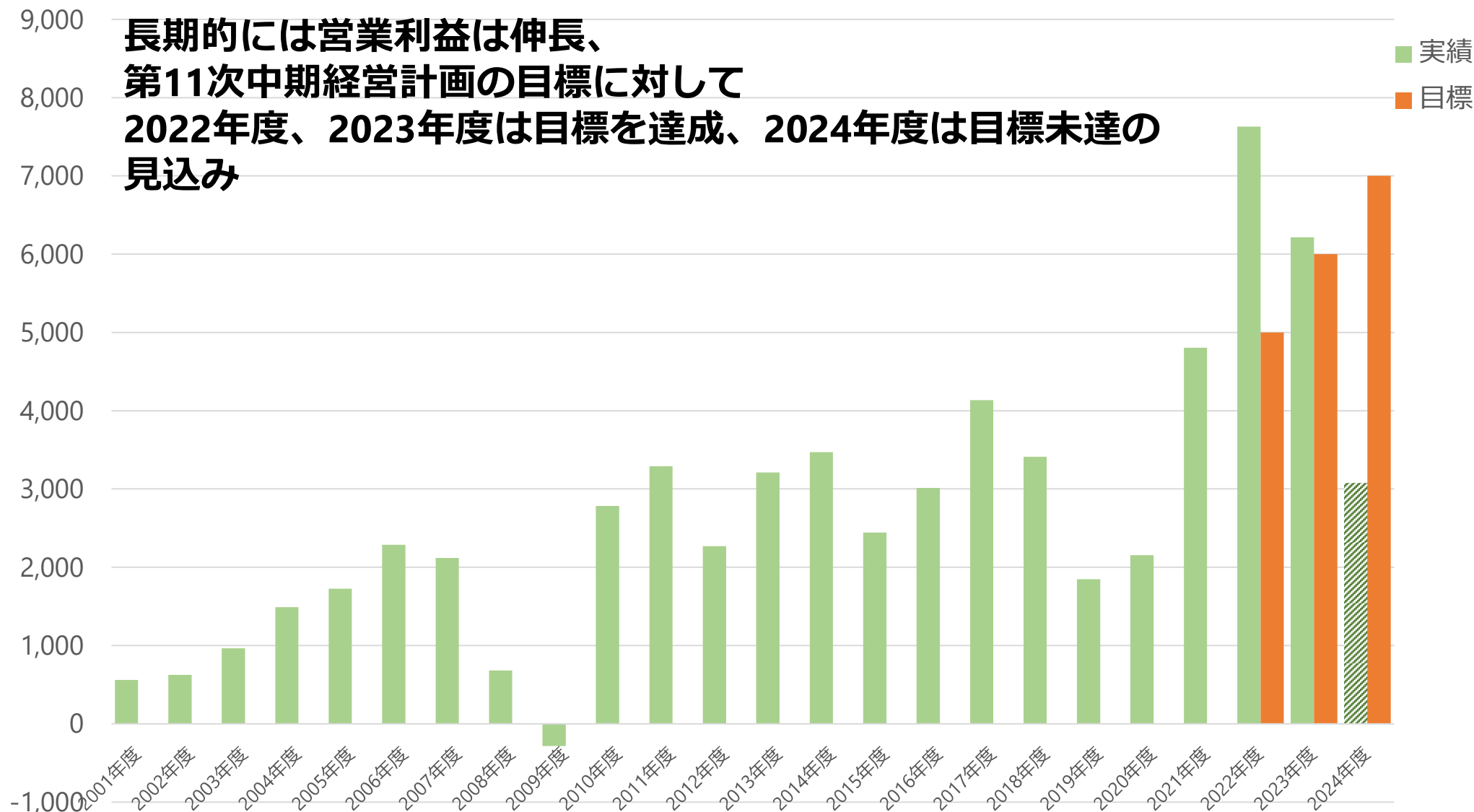
◆ 連結	目標営業利益	営業利益	営業利益率	売上高
2021年度実績	48億円	48億円	3.1%	1,544億円
2022年度実績	50億円	76億円	4.2%	1,810億円
2023年度実績	60億円	62億円	3.7%	1,661億円
2024年度予想	70億円	30億円	2.0%	1,550億円

- ・ 2024年度の営業利益は30億80百万円と、営業利益目標を39億20百万円下回る見込み
- ・ 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けての対応」を継続

第11次中期経営計画「SNS2024」の進捗

営業利益の推移

(単位:百万円)



グローバルサプライチェーンのプロフェッショナルとして "つながり"と"信頼"でものづくりの未来を支える

Challenge

01

イノベーションが求められる成長分野への注力

- 顧客セグメント戦略と拠点営業戦略の融合による収益性の向上
- 強みを活かした新規ビジネス創出と成長分野への投資
- PBR 1.0倍超を目指したPR・IR・SR活動の強化

Challenge

02

より高付加価値な製品と新たなソリューションの提供

- 顧客課題の解決を目指した独自の技術サポートとソリューション開発
- SDX（サンワDX）の策定と推進
- グローバルサプライチェーン強靱化のためのソリューション提供

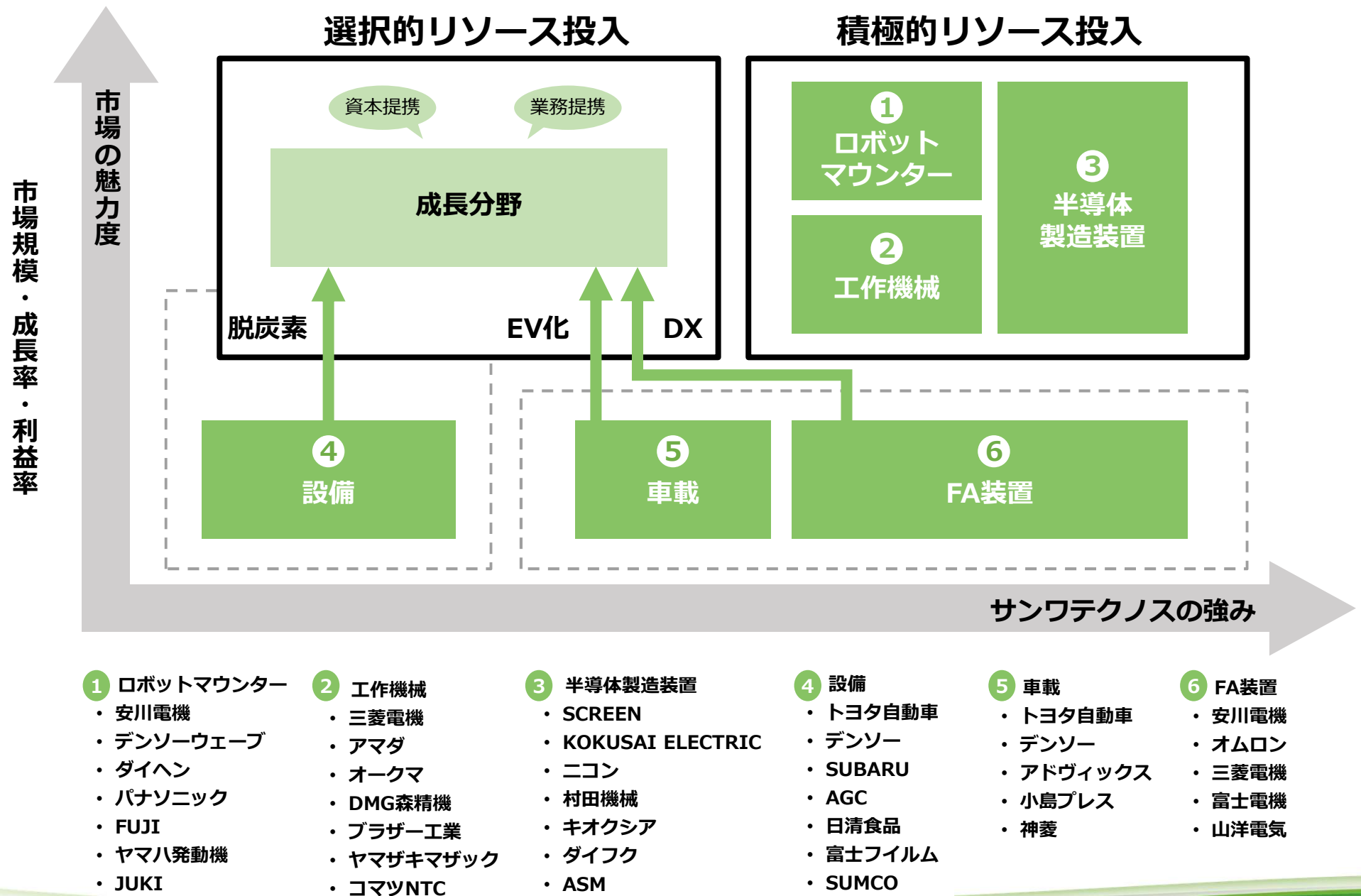
Challenge

03

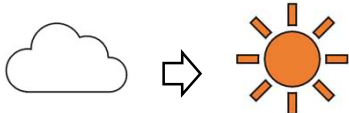
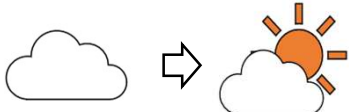
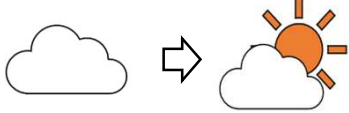
サステナビリティ経営による持続可能な社会の実現に貢献

- SDA推進によるCO2排出量削減への貢献度の可視化
- 多様な人材育成と活躍推進のための人的資本投資の実施
- 社員エンゲージメント施策の立案、実施、効果測定

イノベーションが求められる成長分野への注力



顧客セグメント別 2023年度利益成長率 実績

顧客セグメント	'21→'24 目標成長率 (3年平均)	'21年度→'23年度 利益成長率		今年度の 当社の状況
		実績成長率	進捗判断	
半導体 製造装置	15%以上	7.5%	△やや遅れ	
ロボット マウンター	10%以上	▲14.3%	▲大幅遅れ	
工作機械	10%以上	6.6%	△やや遅れ	
FA装置	10%以上	11.7%	○予定通り	
車載	10%以上	27.6%	◎大幅進捗	
設備	10%以上	▲0.5%	▲遅れ	

- 会社概要
- 2024年3月期決算概要・2025年3月期業績予想
- 第11次中期経営計画「SNS2024」の進捗
及び2024年度会社方針
- 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応
について
 - ① 中期経営計画「SNS2024」の着実な実行による収益
性の向上
 - ② 株主還元の充実
 - ③ IR・SR活動の拡充
- サンワテクノスの主な社会貢献活動

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

現 状

- 2024年3月期のROEは10.0%を上回っておりますが、PBRは0.75倍と1.00倍を下回っております。

課 題

- 当社の持続的成長に向けた事業戦略・成長戦略が、投資家の皆様から十分な理解を得られていないこと
- 株式の流動性が低いこと
- 時価総額が小さく機関投資家の投資対象になりにくいことなどが株価低迷の要因と認識しております。

取り組み

KGIである連結営業利益の最大化を通じて、高水準のROEの維持を目指します

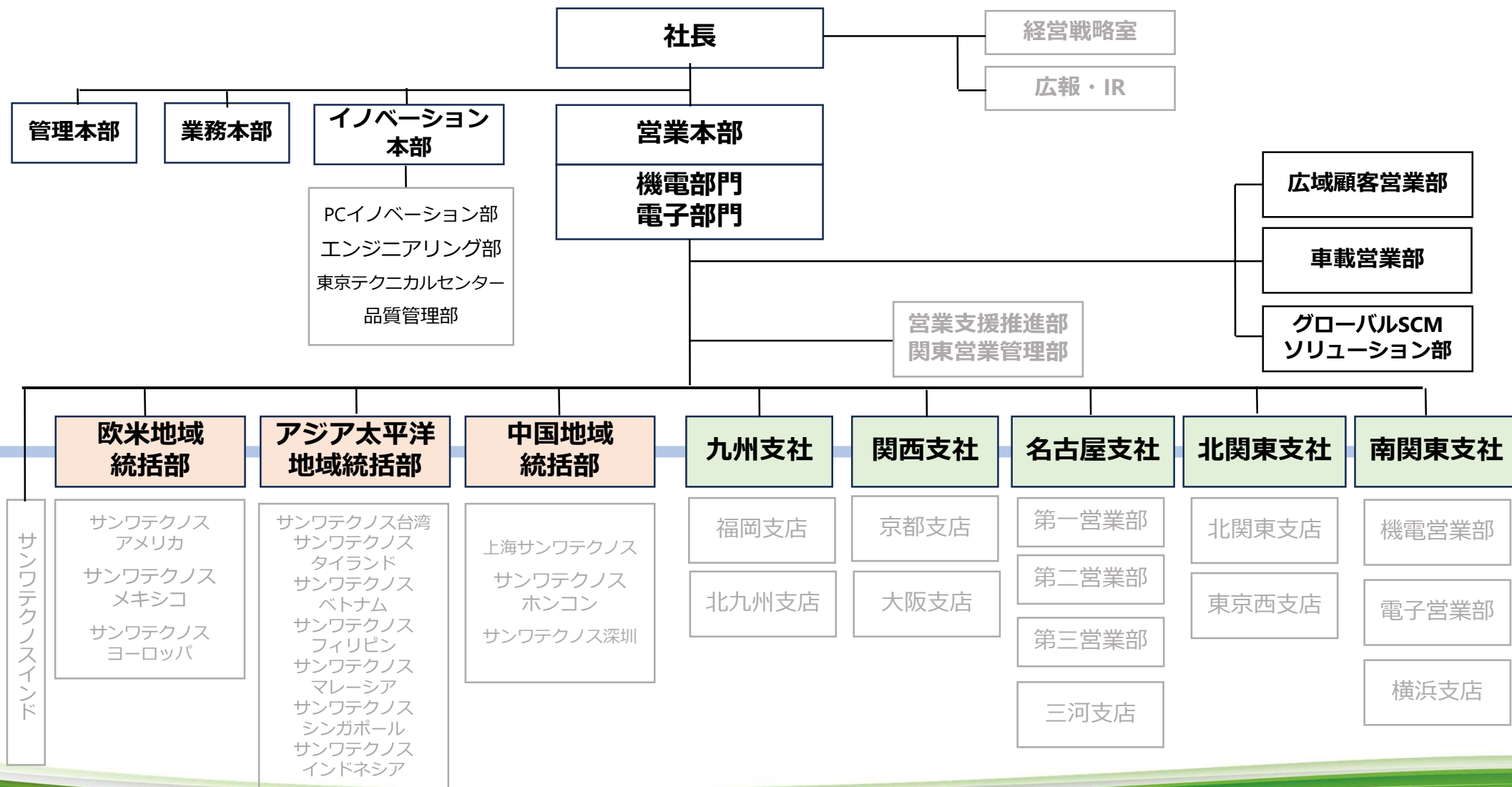
- ① 中期経営計画「SNS2024」の着実な実行による収益性の向上
 - 1.営業戦略：組織体制を改編し顧客密着型営業戦略、顧客セグメント戦略を強化します。
 - 2.商品戦略：環境にやさしい商品の拡販を全社で取り組み、GXの推進を行います。
 - 3.技術戦略：高付加価値の新商品の開発と拡販を進めます。
 - 4.海外戦略：アジア、インド等へ生産移管を進める顧客への支援体制を整え、現地代理店の基盤を確立します。
 - 5.DX戦略：DXの推進で業務の効率化を図り、収益性の拡大に向けた体制を構築します。
- ② 株主還元の充実
- ③ IR・SR活動の拡充

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
ROE	4.2%	5.4%	9.8%	13.3%	10.8%
PBR	0.41倍	0.49倍	0.55倍	0.68倍	0.75倍
期末株価	815円	1,081円	1,348円	1,943円	2,390円
配当性向	40.4%	30.0%	16.2%	25.3%	28.8%

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

① -1 営業戦略

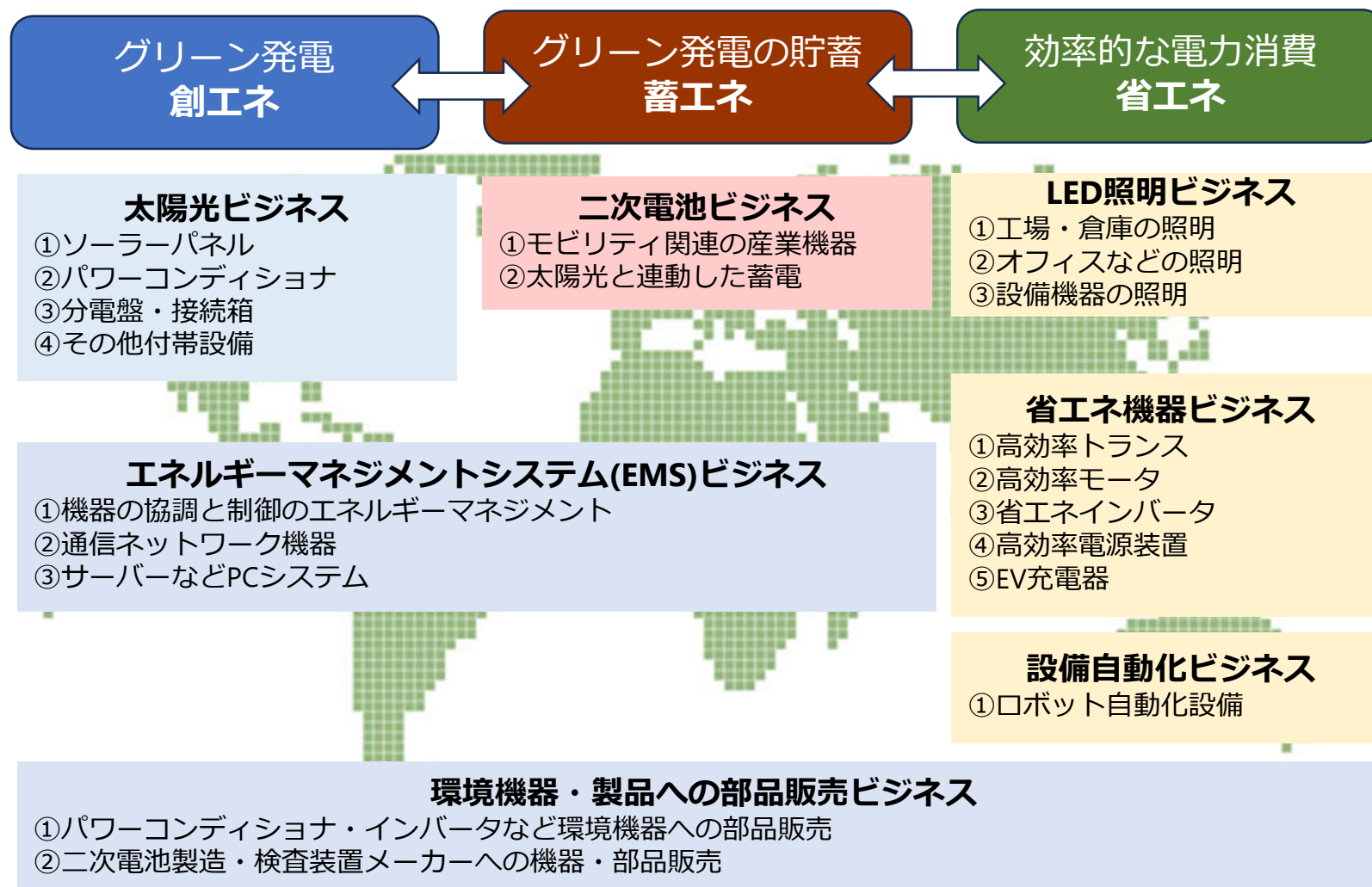
収益力の更なる向上を図るため、営業組織体制を、国内5支社、海外3地域統括に改編し、顧客密着型営業戦略、顧客セグメント戦略を強化します。



①-2 商品戦略

グリーントランスフォーメーション（GX）の推進

環境にやさしい商品の拡販を全社で取り組み、GXの推進を行います。



①-3 技術戦略

イノベーション本部が独自技術を有する企業とアライアンス等の実施を通じて、高付加価値の新商品の開発と拡販を進めます。

● 2023年10月30日 株式会社エムテックと業務提携



● ロボットソリューションパッケージ 3D Connect シリーズ第1弾『AR^2 System』発売

<実績> 2023年度～ 約3億円規模の納入予定※

<目標> 2024年度～2026年度 売上50億円※

※ロボット+AR^2+台車+立上費用込み価格

メーカー標準にパッケージを付加することでロボット導入のハードルが軽減されると好評！

3D Connectシリーズ 新たな機能を追加
<2024年7月ロボットテクノロジー展（愛知）で展示>



①-4 海外戦略

中国リスクの影響を最小限に抑えるよう対処し、アジア、インド等へ生産移管を進める顧客への支援体制を整え、現地代理店としての営業基盤を確立します。

売上高占有率

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (予測)
日本	66%	65%	62%	62%
中国	24%	24%	27%	25%
アジア	6%	8%	7%	9%
欧米	4%	3%	4%	4%
全社合計	100%	100%	100%	100%

中国リスクへの対応

「有事の際の対策を検討するワーキングチーム」を設置し対応に備える

①駐在員と帯同家族の安全 ②資金の確保 ③サプライチェーンの確保 ④事業の継続

マーケットの変化への対応

アジア、インド等へ生産移管を進める顧客への支援体制を整える

（2024年5月17日、インドに2拠点目となるグルグラム事務所を開設）

ターゲット顧客 日系のFA機器メーカー、工作機械メーカー、射出成型機メーカー、産業機器メーカー、車載・鉄道機器メーカー、設備メーカー

①-5 DX戦略

「SDX（サンワDX）」の策定と推進により業務の効率化を図り、収益性の拡大に向けた体制を構築します。

D **X**
「デジタル技術を使った業務改善」

顧客バリュー向上のためのデータ活用的高度化

- 顧客セグメント戦略KPIの見える化
- 営業支援ツール(SFA)の活用高度化
- 技術情報データベースの構築

オペレーション業務の効率化

- 基幹システムからのアウトプット帳票のデジタル化
- 申請・承認業務のワークフロー化の充実
- RPAによる業務の自動化
- 情報の一元化、業務プロセスの標準化・集約化
- WMS、輸出管理システム導入

重要経営指標の迅速な可視化

- 効率的なグローバルデータの集約
- 経営ダッシュボードの充実
- SFAの見直し

DX人材育成・採用

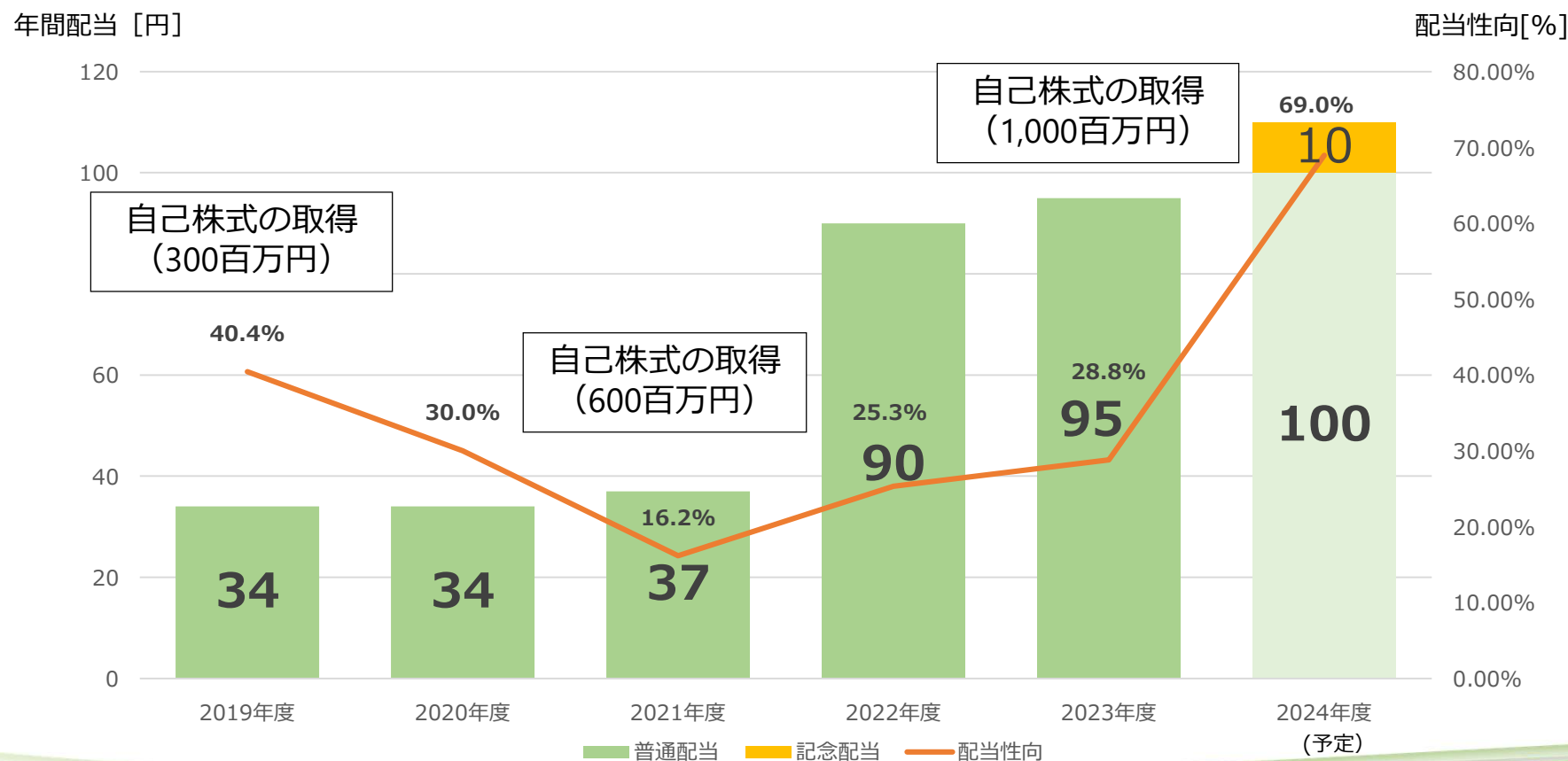
- 全社員を対象としたITリテラシー向上のための研修実施
- リスキリングによるDX人材の育成
- 適正人材の採用

企業サイトリニューアル

- 世界中の技術をつなぐをコンセプトにリニューアルを実施

② 株主還元の充実

- 持続的な成長と企業価値の向上のための積極的な事業展開や様々なリスクに備えるための財務健全性とのバランスを考慮したうえで、安定配当を維持しながら中長期的な視点で連結業績に応じた利益還元を行う
- 業績連動利益配分の指標として連結配当性向25～35%を目標とする
- 株主還元や資本効率向上のため、時期及び財政状況に応じて機動的に自己株式の取得を実施



② 株主還元の充実

■ 設立75周年（2024年11月4日）記念配当（10円）を実施予定
（2025年3月末日（基準日））



■ 株主優待制度を新設（QUOカード）

■ 開始時期

2025年3月末日

■ 対象

毎年3月末現在の当社株主名簿に記載または記録された、100株（1単位）以上保有の株主様

■ 優待内容

保有株式数	株式保有期間 2年未満	株式保有期間2年以上 （長期保有優待）
100株～500株未満	1,000円	左記に+ 1,000円
500株以上	2,000円	

■ 進呈時期

3月末を基準日として、定時株主総会後に発送する株主通信に同封し、年1回進呈

③ IR・SR活動の拡充

ステークホルダーの皆様の認知・理解・共感を獲得し、「企業価値の向上」を実現しPBR1.0倍超の早期実現を目指します。

2024年度の主な活動内容

- ・ 機関投資家向け決算説明会(年2回開催)
- ・ 個人投資家向け会社説明会(年4回開催)
- ・ IRラジオ出演(年4回放送)



個人投資家向け会社説明会



ラジオNIKKEI『ザ・マネー』 ※ご視聴・チャンネル登録をお願いします↑



- 会社概要
- 2024年3月期決算概要・2025年3月期業績予想
- 第11次中期経営計画「SNS2024」の進捗
及び2024年度会社方針
- 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応
について
 - ① 中期経営計画「SNS2024」の着実な実行による収益
性の向上
 - ② 株主還元の充実
 - ③ IR・SR活動の拡充
- サンワテクノスの主な社会貢献活動

サンワテクノスの主な社会貢献活動

サンワテクノスは社会から必要とされる企業を目指して積極的に活動していきます。

地域貢献活動



・京橋清掃活動



・日枝神社山王祭への協賛



福祉支援活動



- ・ AED普及活動（累計販売2,000台を達成）
- ・ 日本AED財団への寄付

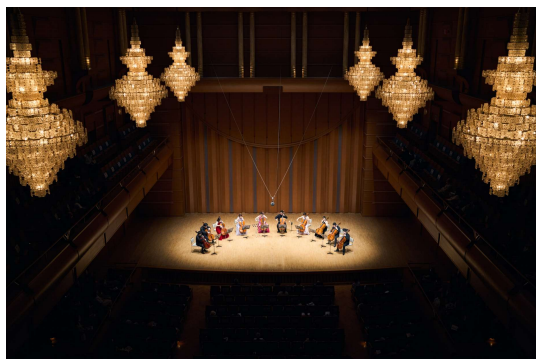
教育支援活動

Sustainability Awards
for Students by Students

#SASS2023

大学生による中高生のための SOGs / サスティナビリティワード

芸術文化支援活動



東京チェロアンサンブル協賛

スポーツ振興活動



- ・ スタンレーレディースホンダゴルフトーナメント協賛
- ・ JLPGA（日本女子プロゴルフ協会）ジュニア育成基金

以上のように、高い成長性・収益性・安定性を
求めて、経営に努力してまいりますので、今後も
一層のご支援を賜りたくお願い申し上げます。

Appendix

為替レートと為替感応度

	2023年3月期	2024年3月期	1円変動による影響額※		2025年3月期 想定為替レート
			売上高	営業利益	
USD/JPY	131.43	140.56	510百万円	50百万円	137.90

※USD/JPYが1円変動し、他の通貨も同様の比率で変動した前提

※2024年6月末日時点

10.8%

ROE
自己資本利益率

6.5%

ROA
総資産経常利益率

1,550億円

売上高
(業績予想)

30億円

営業利益
(業績予想)

159.48円

EPS
一株当たり当期純利益

2,255円

株価

0.71倍

PBR
株価純資産倍率

14.1倍

PER
株価収益率

3,174円

BPS
一株当たり純資産

4.87%

配当利回り
(予定)

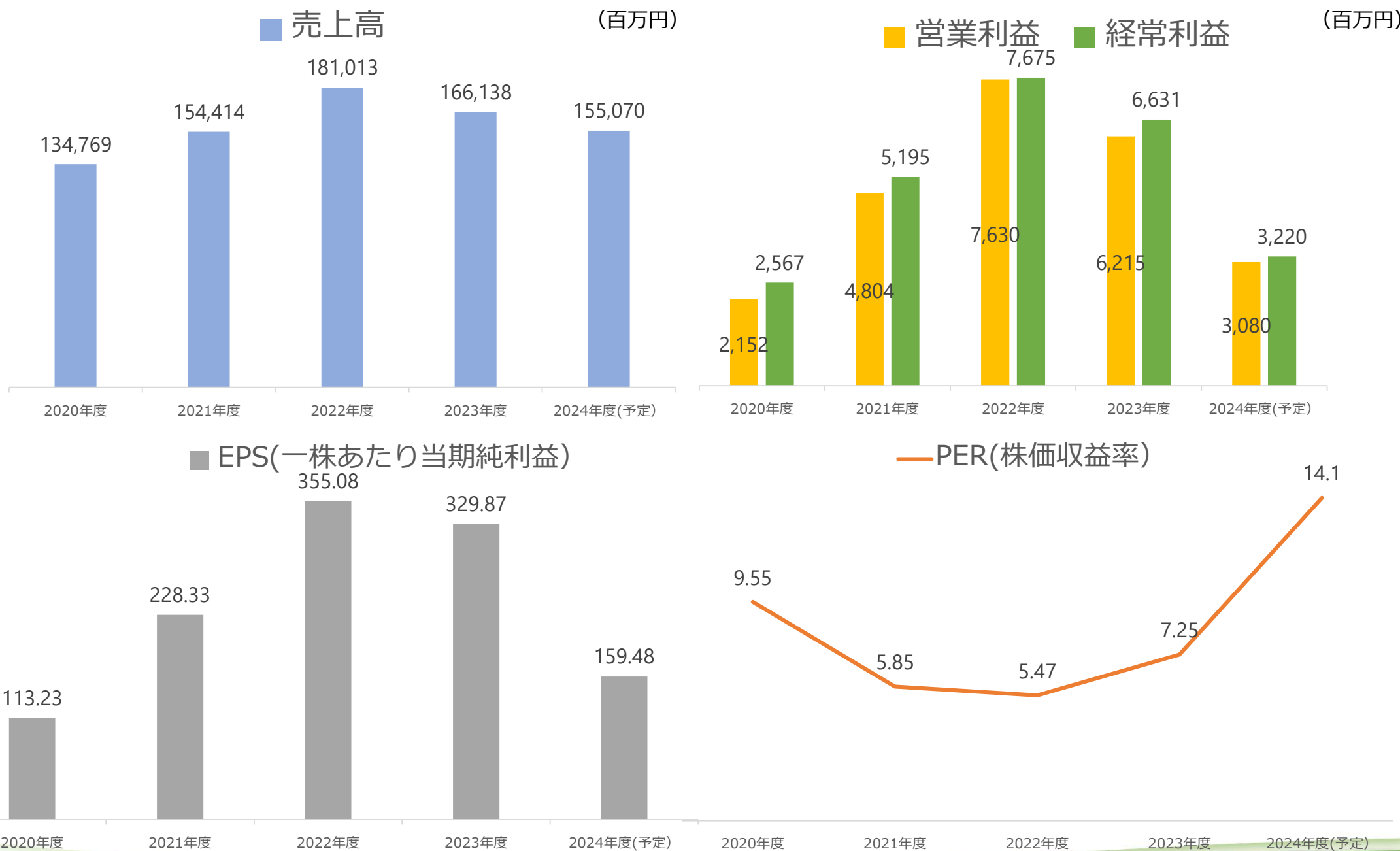
69.0%

配当性向
(予定)

110円

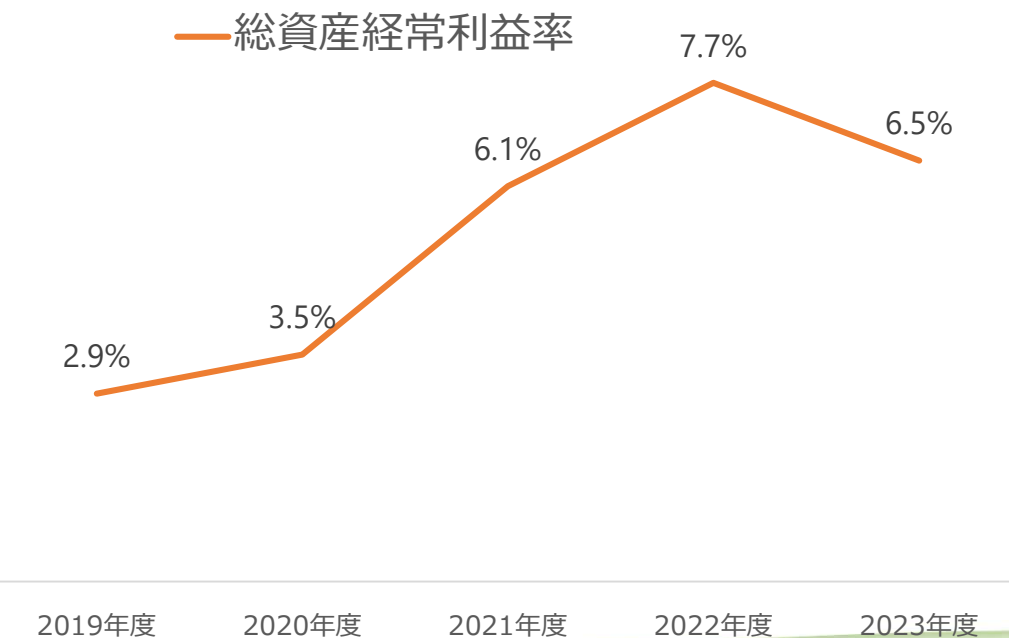
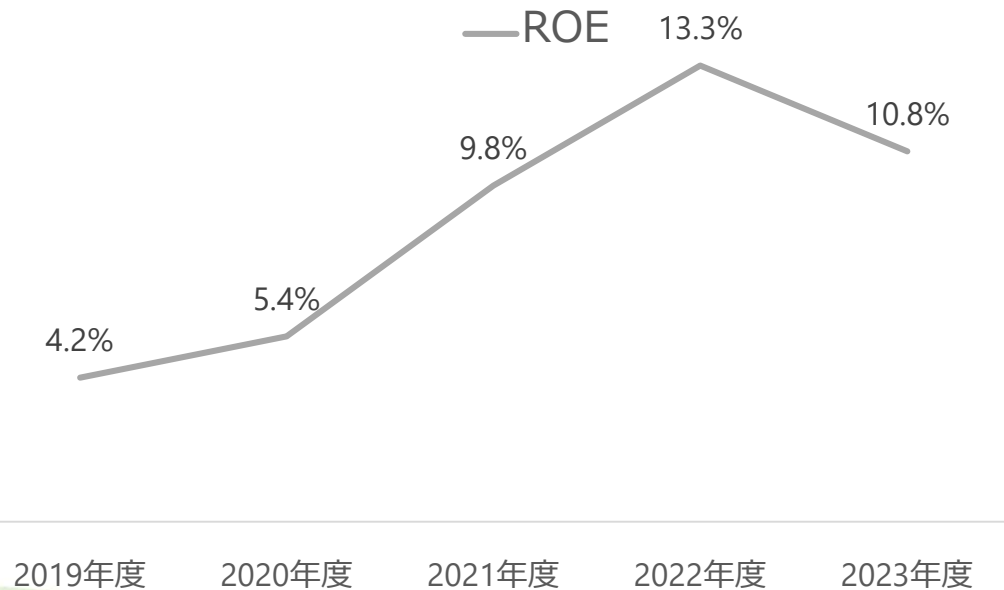
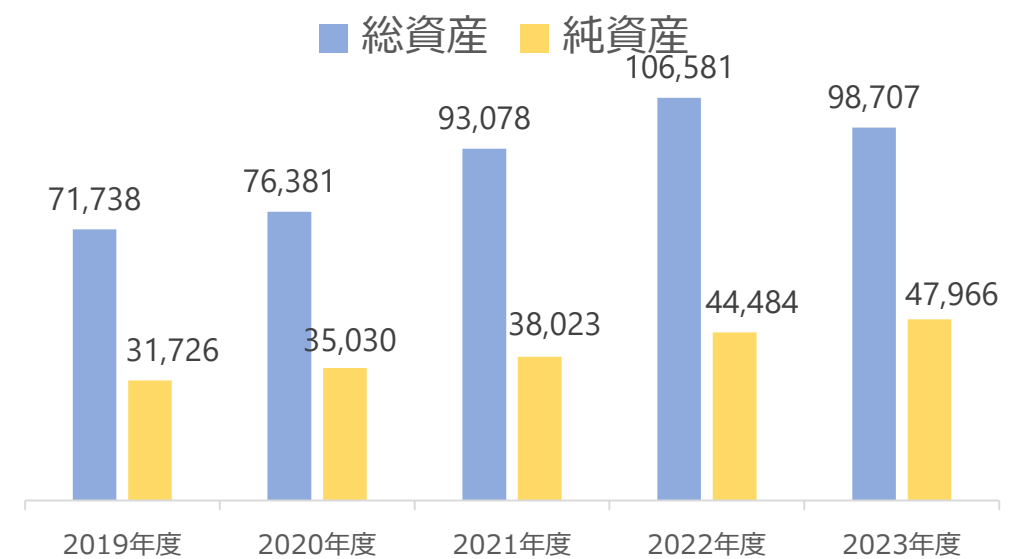
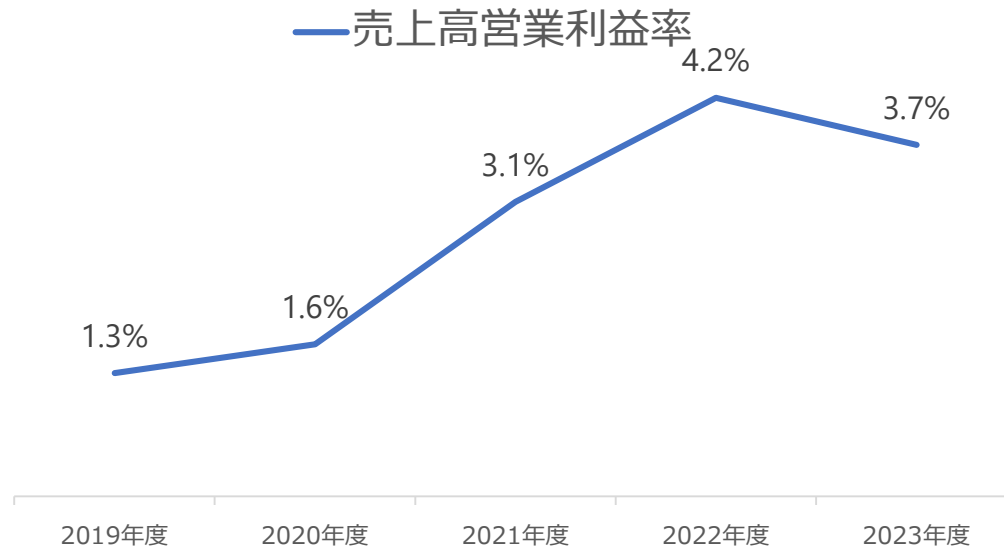
年間配当
(予定)

業績ハイライト/過去5年



業績ハイライト/過去5年

(百万円)



当社株価推移（平均値）

（単位：円）



※当社株価は1ヶ月間の平均株価

- ・サンワテクノス IRサイト



- ・大和インベスター・リレーションズ 様主催 サンワテクノス投資家向け説明会動画



- ・ラジオNIKKEI 様主催 サンワテクノスIR特集サイト



問合せ先

広報・IR室

〒104-0031

東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン18F

T E L . 03-5202-4011

F A X . 03-5202-4054

※ご相談窓口はこちら↓



お問合せ・IRミーティングのご希望
などHPからでも承ります。

本資料取扱い上の注意点

- この資料には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する予想見通しの記述が含まれています。
- これらの記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済や当社の関連する業界動向、新たな技術の進展等により変動することがあります。
- 従いまして、実際の業績等が記載の予想数値と異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。

